

日系アメリカ人について

福井 かりん（大学1年）

この夏、私たち8人の柏生は3週間のトランスでのホームステイを経験し、多くの人と出会い様々な場所を訪れました。楽しかった思い出はもちろん、歴史や文化に触れた学びもありました。その中で私がより深く考察し、日本の人々と共有したいと考えたテーマとして、日系アメリカ人について考えていきたいと思います。

日系アメリカ人の歴史は第二次世界大戦以前より始まっています。当初はハワイに動員された労働力として入植しました。サトウキビやパイナップル農業に従事していましたが、その後アメリカ西海岸へも渡り、そこで大多数の白人と文化の異なる黄色人種であったがために排斥運動が起こりました。

その後日本による真珠湾攻撃をきっかけに状況は大きく変わります。日本軍の奇襲攻撃とアメリカは捉えていましたが、実際のところは時差の影響で開戦の宣告が受理される前に攻撃をしてしまったことに問題があったそうです。敵性市民として監視の目を向けられた日系人は強制収容所へと移動させられ、苦しい生活を送りました。強制収容所の家屋は十分に雨風をしのげる壁や栄養を補える量の食料もなく、劣悪な環境でした。そんな中でも、逃げ出す事なく真面目に働いた彼らは少しずつ信用を得て、遠くの街での労働を認められることで生活用品を揃えていきました。

また第二次世界大戦中現在 LA にある GO FOR BROKE と書かれた石碑に名を連ねている日系アメリカ人の二世による活躍が多くありました。彼らは生まれ育った国アメリカの兵士として志願し祖国のため戦いました。中には英語と同時に日本語能力を活かし、日本軍の暗号解読に努めた兵士や、沖縄戦の際には、島民たちに自決をやめるよう促す役目があったりもしました。ヨーロッパ戦線で戦った日系人の特別部隊もあり、多くの犠牲の上に成り立った功績が認められ賞をも受けました。

そんな彼らの苦労や努力は今日の日米関係に大きく影響しています。戦後も差別をなくすため、日系人が安全に暮らすための運動が多く行われました。現在の日米の友好関係も彼らの力があってこそなのなのです。

日系アメリカ人の定義とは何か。これは私たちがリトルトーキョーにある Japanese American National Museum を訪問した際に、ガイドの方から問いかけられた質問です。この時に正解がわからず、私たちは黙ってしまいました。この時、世界の人々について自分がいかに無知で理解が乏しいかを痛感しました。これは単一民族国家とされる日本に住む上では仕方のない事なのかもしれません。日本はハーフやクォーターさえが珍しがられる小さな国なので



す。しかし今回、多くの民族集団の集まるカリフォルニアを訪れたことで、我々日本人に深く関係する日系アメリカ人について、より深く学び、身近に感じることができました。この貴重な経験を忘れずに今後も視野を広げていきたいと強く思います。